

第 2 学年	社会	使用教科書等	中学生の地理(帝国書院)、新しい社会歴史(帝国書院)、地図帳、ワークシート	担当教員	奥田 貴大
--------	----	--------	---------------------------------------	------	-------

【学習の目標】 地図や様々な諸資料を用いて、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる力を養う。

【授業の進め方や授業のポイントは何か】 ○「なぜ?」「どうして?」という思いを大切に、授業にのぞみましょう。 ・単元のねらい、毎回の授業のねらいを意識しよう。 ○調べる、考える場面を大切にしましょう。 ・地図帳や教科書の資料などに目を通そう ・授業で学んだ語句や場所、資料等を自分で考え、調べよう ○まずは1人学び、その後の学び合いを大切に ・他者の意見を聞くこと、自分の考えを自らの言葉で述べる場面を大切に。 ・交流を踏まえ、自分なりの本時のねらいを述べられるようにしよう。

【どのように家庭学習を進めればよいか】 ○授業の振り返りを毎回行うことがベスト。 ・家庭学習ノートなどを活用し、授業の振り返りを行う。 （板書を写すだけでなく、できれば自分の言葉で授業のねらいを振り返られるようにしたい。） ○テスト前の学習。 ・ノートや教科書を振り返り、授業内容を思い出す。 ・忘れた内容や心配な部分を見ること。(分からなければ自分で調べたり、友達や先生に聞く。) ・友達と問題を出し合ったり、考え方を交流する。 ・ワーク・過去問題に取り組み、間違った部分を振り返ろう。

【通知表のつけ方】	
評価の観点	何で頑張りを見るか
知識・技能	定期テスト 小テスト 授業での発表や発言
思考・判断・表現	定期テスト ワークシート(単元のまとめ、振り返り) ロイロノートでの活動
主体的に学習に取り組む態度	定期テスト ワークシート(単元のまとめ、振り返り) 授業での発表や発言

【1年間の授業計画】							
学 期	学習する内容	ここで付けたい力	使うもの	学 期	学習する内容	ここで付けたい力	使うもの
1 学 期	【地理的分野】 第 5 章 世界と比べた日本の地域的特色 第 6 章 日本の諸地域 (九州地方まで)	・日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。 ・少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解する。 ・日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。 ・国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解する。 ・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。	教科書 地図帳	2 学 期	【歴史的分野】 第 4 章 近世の日本	・ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことに対し、理解を深める。 ・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことに対し理解を深める。	教科書 地図帳
				3 学 期	第 5 章 開国と近代日本の歩み	・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことに対し、理解を深める。 ・開国とその影響、富国強兵・殖産興業施策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことについて理解を深める。	教科書 地図帳
2 学 期	第 6 章 日本の諸地域 (中四国地方から北海道地方まで) 第 7 章 身近な地域の調査(夏休みの宿題も兼ねて)	・地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。	教科書 地図帳	※定期テストの予定 1 学期 中間、期末テスト 2 学期 中間、期末テスト、夏休み明けテスト 3 学期 学年末テスト、冬休み明けテスト			